



未来のスマートシティを創る

この街でつながる 人モノ情報知識

2017年 7月 13日(木) 15:30~18:00

東北大学附属図書館 本館2階 グローバル学習室

▷ 地下鉄東西線「川内駅」下車 南2出口から徒歩6分

part 1.

基調 講演

日欧共同プロジェクト Horizon2020
の一環として、仙台市宮城野区田子西
地区での実証実験を行っている、お二
人の先生にご登壇いただきます。

「iKaaS」と呼ばれる知識集約ブラッ
トフォームによって、どのようなサー
ビスが実現するのでしょうか。

iKaaSの概要と タウンマネジメントへの応用

菅沼拓夫 教授

-----東北大学サイバーサイエンスセンター
ビッグデータ、IoTといった言葉が飛び交い、複雑な情報通信シ
ステムが日々拡大していく中でも、人々がより簡単に、効率的に多
様なシステムを活用できるような、人間調和型情報通信システムの実現を目指す。

人、モノ、街、地球環境、社会とサイバー空間が共生する次世代情報社会を支える
情報通信基盤技術の実現を目指し、ネットワーク技術を軸とした研究を行っている。



iKaaSのヘルスケア分野への利用

門間陽樹 助教

-----東北大学医工学研究科
身体活動、運動、スポーツ分野において、疫学的手法を応用し、
通説を裏付ける情報や健康に役立つ情報を社会に提供すること
を目指している。2014年には、震災発生前の個人の身体状態や生活
習慣が、震災発生後の精神的ストレスと関連するとの発表を行
い、日常の身体機能の維持・向上が災害時のメンタルヘルス悪化
の一次予防策になる可能性を世界で初めて示した。

part 2.

パネル

ディスカッション

テーマ：iKaaSがもたらす未来のスマートシティ

iKaaSの活用で実現される未来のスマートシティについて、パネリストの方々から
お話を聞き、会場を交えたディスカッションを行います。

コーディネータ：橋本和夫 教授（早稲田大学）

パネリスト：菅沼拓夫 教授

門間陽樹 助教

内林俊洋 研究員

株式会社 KDDI 総合研究所

国際航業株式会社

株式会社日立ソリューションズ東日本

問い合わせ：

東北大学附属図書館レファレンスデスク

☎ 022-795-5935 ✉ desk@grp.tohoku.ac.jp

主催：東北大学 EU 情報センター

